

明日からの公務に活かす

国民健康保険事務担当者研修会



府と本会共催の国民健康保険事務担当者研修会は9月5日（水）、ルビノ京都堀川で、29保険者から55名、1保健所から1名、連合会職員2名の出席で開催した。

開会に伴い府医療企画課の豊福淳之課長の挨拶のあと、「国民健康保険の現状と課題」と題して、国民健康保険中央会企画・保健部次長の檜山隆宏氏の講演があり、国保の概要や社会保障と税の一体改革による国保の将来像について説明があった。その後、出席者は医療費適正化分科会と国保料（税）収納促進事業分科会に分かれて受講した。

医療費適正化分科会では柔道整復療養費審査委員の林啓史氏が「柔道整復療養費の審査について一応用一」について講演を行い、柔道整復療養費申請書の実例を交えながら、保険者が審査を行う際のポイントについて説明をした。また、今年度から保険者による再審査の申し出件数が増えてきているが、今回のような研修を通して勉強し、さらに増やして欲しいと述べた。



国保料（税）収納促進事業分科会では府医療企画課の東原勲主査から、保険料の収納率向上について特徴的な取り組みをしている保険者の紹介があった。分科会後半はグループ討論が行われ、出席者らは効果的な取り組みや、日頃の課題について話し合った。